

(2) チャレンジ ボールストレッチ(養える力:柔軟性、協力、公正)

2人組で背中合わせになり、頭の上からボールを渡し、足の間を通してボールをもらい、20秒間の間に、何回渡せたかを競う。(上・下の両方とも1回とカウントする。)

ア 準備

- ・ドッジボール (2人に1個)
- ・ストップウォッチ

イ 方法

- ・2人組でボールを1個準備し、背中合わせになり立つ。
- ・計時の「はじめ」の合図で、頭の上からボールを渡し、足の間を通してボールをもらい、これを繰り返す。
- ・20秒たった時点で、計時は「終わり」の合図をする。20秒間以内であれば、途中で失敗しても継続して行ってよい。上体そらしとまたくぐりの交互で渡り合った回数が記録となる。



ウ グループ編成

- ・二人組で行う。クラスの人数が奇数の場合は、児童が重複してもよい。
- ・人数が少ない学級は、異学年の児童を加えて行ってもよい。ただし、記録登録は、最も上の学年の児童が在籍する学年とする。



エ 記録と参加人数

- ・二人組で行う。クラスの人数が奇数の場合は、児童が重複してもよい。
- ・各グループの手渡した回数の合計をグループ数で割り、その平均回数を記録とする。平均回数が小数となった場合は、小数第2位を切り捨て、小数第1位までとする。
- ・実施日はすべて同じでなければならない。

オ 実施上の注意等

- ・実施場所は、運動場。または、体育館等とする。
- ・使用するボールは、低学年用のライトドッジボールでもよい。
- ・記録挑戦の際は、原則として教師の立会いのもと実施し、計時・計測を行う。